

お詫びとご報告

この度、当センターで、個人情報を含む書類を、シュレッダーでの処理をせず、一般ごみと一緒に廃棄するという事例が発生し、直ちに対処いたしました。

調査の結果、該当するごみは、幸いにも廃棄の途中で散逸することなく、廃棄・焼却されていることを確認し、個人情報の漏えいはございませんでした。万が一、第三者による不正使用等の事実が判明した場合には誠意をもって対応させていただきます。

本件は、学生実習生が、個人情報を含む書類を一般ごみとして廃棄したことによりますが、学生実習生への指導を行う担当者の監督責任は重いものと考えております。

今回、ご迷惑をおかけした方々に深くお詫び申し上げます。

このような事態が発生したことを厳粛に受け止め、個人情報の保護の重要性についての職員教育の再徹底を行うとともに、再発防止に向けて、具体的に以下の取り組みを行います。

- (1) 個人情報を扱う部署に、現場での個人情報保護担当者を配置し、個人情報の管理・処理状況について、日々、確認を行う。
- (2) 個人情報を含む書類のシュレッダーでの裁断処理の方法について、センター全体で手順を統一する。
- (3) 現場の個人情報保護担当者は、部等の個人情報保護管理者に、処理状況について、定期的に報告するとともに、処理方法について、新人、ローテーター、研修者を含めて、指導を行う。

当センターでは、上記の取り組みなどを通じて、個人情報の管理を適切に実施する体制を整え、万全の対策を講じてまいります。

平成 23 年 9 月 21 日
国立がん研究センター理事長
嘉山 孝正